

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 2025年11月25日

P T A名		静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	39				

1. 使用状況

寄贈物品名	ボックスカホン
使用学年及び人数	全学年
使用頻度	年に数回
使用状況	音楽の授業でリズム打ちの活動や、総合文化部の音楽的活動で使用している。
物品の使用による変化や効果	楽器に座って使用するため、楽器との一体感を感じるほか、打つ強さや打つ位置を変えることによる音の変化を楽しむことができた。 打つことに特化した楽器であるため、どの生徒にも使用が可能であり、交代で楽しむ姿が見られた。
今後の活用の見通しや課題	毎年計画に入れて実施することで、器楽さらには音楽に親しむ心を育みたい。 単独で、曲に合わせて、他の楽器となど、取り組み方法の可能性を感じた。 今後もお楽しみ会など生徒が企画するイベントを予定しているので、活用を勧めたい。 ICTを活用し、バンドなど生徒が憧れる演奏を見ながらミュージシャンになりきるような活動に取り組んでみたい。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



- ・生徒は「簡単に音が出ますね。」と素直な感想を口にしていた。
- ・写真のように二人並んでそれぞれ異なるリズムを打つ活動では、音のハーモニーを楽しんでいた。
- ・シンプルなリズムを打ち続けて楽しむ生徒もいた。